

建設大臣賞

福岡都市計画都市高速 鉄道西日本鉄道大牟田 線(福岡~平尾間)連続立体 交差事業

(福岡市)

■表彰対象者：福岡市土木局

表彰の理由

厳しい工事上の制約を最新技術の導入により克服し、鉄道の高架化により中心市街地の踏切が除却され、慢性的な交通渋滞が解消されるとともに、分断されていた街が一体化され、均衡ある都市の発展が期待されるなど、その効果が著しく大きいとして評価された。



薬院駅部を上空より望む

事業のあらまし

西鉄大牟田線は、福岡市の都心である天神を起点として福岡県南部の大牟田市に至る延長95.2kmの基幹鉄道である。

事業区間の福岡駅と平尾駅の間には9つの踏切があり、近年の交通量の増大に伴い、踏切における交通渋滞は深刻化していた。特に薬院1号踏切では1日のうち5時間以上も人や車の流れがさえぎられるなど市街地の一体的発展の大きな支障となっていた。

このような現状の抜本的解決を図るために本市の都市計画事業として連続立体交差事業を行ったものである。

- 延長：1,620m
- 踏切除去数：9箇所
- 全体事業費：35,271百万円
うち街路事業費：35,271百万円
- 事業年度：昭和57年～平成8年度



平尾駅から福岡駅方向を望む



施工中



薬院駅



整備前



高架切替後



側道12号線（歩行者専用道路）



トラベラーによる床版施行（直上方式）

事業の効果

本事業により9つの踏切が除去され、踏切待ちのイライラ、交通渋滞、踏切事故等の問題が解消された。

また、鉄道によって分断されていた街が一体化され、均衡ある発展が期待される。

さらに、鉄道の高架下を利用した自転車駐車場やコミュニティースペース、商業施設の整備、駅ビル等の建設により、新しい生活の場として有効利用でき、活気ある都市活動の拠点づくりを応援する。